

16 活力ある産業の推進			
主管課名	生活文化スポーツ部 産業振興課		
主管課長名	三ツ木 吉和	電話番号	042-481-7707
関係課名 (組織順)	文化生涯学習課, 街づくり事業課		
目的	対象	消費者, 事業者, 起業者	
	意図	商店街がにぎわう・市内消費が高まる, 企業活動が活発になる・市内の創業者が増える	
施策の方向	商店街の環境整備を促進し, その魅力を高めることで, 魅力ある商店街づくりと市民の日常的な買物の利便性及び満足度を向上させます。また, 地域経済を支えている中小企業・小規模事業者の振興や創業支援を行うとともに, 調布市の特性を生かした市内産業の活性化を図ります。		

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



## 1 令和元年度の振り返り — 取組実績 (DO)

### 施策の成果向上に向けた主な取組実績 施策における2つのアクション (①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信)

#### (16-1 にぎわいを創出する商業活性化の支援)

- ・商店街のにぎわいを創出するため, 商店会等が行う夏祭りや歳末イベント等, 16商店会24事業を支援した。
- ・市内の28商店会について, 専門家や調布市商工会と連携した巡回・面談を重ね, それぞれの商店会の特性と現状の把握, 課題の抽出を行うとともに, 第3回柴崎つつじヶ丘仙川まちゼミの実施などを通じて, 商店会活性化に向けた支援に取り組んだ。
- ・中心市街地活性化事業として, 調布駅前周辺の商店会を中心に構成する調布駅前商店街が企画した半券サービス事業を支援し, 回遊性の向上と商業の活性化を図った。

#### ①横断的連携による施策の推進

##### ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」

- ・商工会をはじめ, 市内商店会やトリエ京王調布, 調布PARCO等の大型商業施設と連携し, 調布駅前から盛り上げる会での意見交換やラグビーワールドカップ2019の開催による来訪者の増加も踏まえながら, 商業活性化を推進した。

##### ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

- ・ラグビーワールドカップ2019開催期間中のインバウンド需要への対応を主な目的として, 商工会と連携して市内の事業者向けのキャッシュレス決済対応セミナーを商工会と連携して実施し, キャッシュレス決済の普及促進を図った。

##### ■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」

- ・東京2020大会で増加が見込まれる国内外の来訪者を迎えるに当たり, 障害者理解の促進を図ることを目的として, 令和2年度に発行する調布駅周辺飲食店マップ(「エキモリマップ」)に, バリアフリー情報を掲載するための準備を商工会や調布駅前商店街と連携して進めた。

#### ②調布のまちの魅力発信

- ・調布CMの制作, まちゼミ, 「デカ盛りウォークラリー」, 「Oh!!辛チャレンジ」等を実施し, SNSを含む様々な広告媒体を活用して広く情報発信することで, 調布の個店の魅力向上に取り組んだ。

#### (16-2 バイ調布運動(市内消費)の促進)

- ・商工会と連携して推進する「バイ調布運動」の促進を図ることを目的として, 商工会の運営及び実施事業を支援した。
- ・調布駅前商店街が実施した半券サービス事業を引き続き支援することで, 回遊性の向上と商業の活性化を図った。
- ・商工会が実施するスクラッチカード事業を支援することにより, 市内消費喚起・消費者還元を一層推進した。

#### ①横断的連携による施策の推進

##### ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」

- ・商工会をはじめ, 市内商店会やトリエ京王調布, 調布PARCO等の大型商業施設と連携し, 「調布駅前から盛り上げる会」での意見交換やラグビーワールドカップ2019の開催による来訪者の増加も踏まえながら, スクラッチカード事業など「バイ調布運動(市内消費)」の促進に取り組んだ。

##### ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

- ・ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会を契機として, 製品化ものづくり事業を活用して市内事業者が作成した手ぬぐいや酒類について, 商工会と連携しながら, 様々な広告媒体で紹介し, 製品と調布市のPRにつなげ, レガシーの創出につなげた。

##### ■連携テーマ4 「パラリンピックレガシーの創出」

・ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会で増加が見込まれる国内外の来訪者を迎えるに当たり、市内商店等のバリアフリー化や障害者理解の促進を図るため、市内商店が実施するバリアフリー対策に対する補助事業を実施することで、パラリンピック開催を契機としたレガシーの創出に取り組んだ。

### ②調布のまちの魅力発信

・商工会をはじめ、市内商店会やトリエ京王調布、調布PARCO等の大型商業施設と連携し、調布駅前から盛り上げる会での意見交換を行いながら、各種広告媒体を活用し、調布の個店や商店街の魅力を発信した。

## (16-3 市内事業所・事業者への支援)

・市内事業所の事業活動を支援するため、中小企業庁等の融資個別相談の開催や労務などのテーマ別相談会などを積極的に開催するとともに、販路開拓等を旨とする市内事業所を支援するため、見本市等の出展費用補助を実施した。中小企業事業資金融資あっせん事業として、275件・16億4,900万円余の融資をあっせんした。

### ①横断的連携による施策の推進

・中小企業等支援に関する包括協定を締結している5つの金融機関や商工会等とともに、事業承継・人材育成・補助金等各種セミナーを実施した。その他、生産性向上特別措置法に基づき、14件の先端設備導入計画を認定した。

## (16-4 新たな創業への支援)

・経営アドバイザーによる創業相談を随時実施したほか、初心者向け創業相談会、女性起業相談会等を定期的に開催し、シニア向け創業相談も不定期で開催した。  
・中小企業事業資金融資あっせん事業として28件・1億6,000万円余の開業融資をあっせんした。  
・セミナーについては、創業塾をはじめとして、各種セミナーを5回実施し、58人参加があった。また、創業チャレンジ支援事業（市内空き店舗等を活用した創業支援）では、市内で創業した4事業者に対して支援を行った。  
・国の産業競争力強化法に基づく調布市の特定創業支援事業（e-プロジェクト）では、相談事業・セミナーにおいて経営、財務、人材育成、販路拡大に関する知識を身につけた方に対し、知識を習得したことへの証明書を18件発行した。

### ①横断的連携による施策の推進

・日本政策金融公庫と連携した融資相談会を毎月開催するとともに、多摩信用金庫相談員による様々な経営課題の解決を目的とした創業経営相談として個別相談を実施した。  
・新たに、東京都多摩地域事業引継ぎ支援センターの協力を得て、中小企業者における近年の課題である事業承継の個別相談を毎月開催するなど、相談事業の充実を図った。

## (16-5 特性を生かした地場産業の振興)

・市内の映画・映像関連企業や市民団体と連携し、「高校生フィルムコンテスト in 映画のまち調布」など世代に合わせた調布ならではの取組のほか、市民・事業者等が取り組む「映画・映像をつくる・楽しむ・学ぶ」機会となる活動に対して、4団体8件の補助を実施した。  
・映画のまち調布応援キャラクター「ガチョウ」の市内イベントへの出演や、「ガチョウ」PR動画のシアタス調布のプリアード（本編上映前の広告）上映を実施し、「映画のまち調布」の推進に取り組んだ。

### ①横断的連携による施策の推進

#### ■連携テーマ2 「にぎわいとるおいのあるまちづくり」

・映画・映像関連企業・団体との連携による「映画のまち調布」を推進した。  
・近隣自治体や民間事業者等との連携によるロケツーリズムに取り組んだ。

#### ■連携テーマ3 「2019年・2020年を契機としたレガシーの創出」

・国内外からの来訪者が増加したラグビーワールドカップ2019開催期間中に実施した「映画のまち調布Days」において、市内映画・映像関連企業と連携しながら、「映画のまち調布」をPRし、レガシーの創出につなげた。

### ②調布のまちの魅力発信

・2つの撮影所をはじめ、40社以上の映画・映像関連企業が集積する「映画のまち調布」をPRするとともに、フィルムコミッションの積極的な取組によるロケツーリズムを推進した。

## <令和元年度における施策の成果についての総括>

・イベント事業の補助等を通じて各商店会の取組を支援したほか、商工会と連携して商店会や各商店の支援を行い、市民意識調査における日常の買い物が便利と感じている市民の割合が昨年度より8ポイント以上増加した。  
・商工会と連携して推進する「バイ調布運動」の促進を図ることを目的として、商工会の運営及び実施事業を支援するとともに、調布駅前商店街が実施した半券サービス事業を引き続き支援することで、回遊性の向上と商業の活性化を図った。また、商工会が実施するスクラッチカード事業を支援することにより、市内消費喚起・消費者還元の一層推進につながった。  
・経営アドバイザーによる創業相談を随時実施したほか、創業塾をはじめとして、各種創業者向けのセミナーを開催し、創業支援を実施した結果、創業等相談件数がまちづくり指標の基準値より64件増加（実績552件）したほか、納税法人数も230法人増加（実績6,303法人）し、創業への機運醸成が図られた。  
・市内の映画・映像関連企業や市民団体と連携し、「高校生フィルムコンテスト in 映画のまち調布」など世代に合わせた調布ならではの「映画のまち調布」の取組を通じて、まちの魅力向上につなげたほか、映画・映像関連企業と連携した取組の件数をまちづくり指標の基準値より7件増加することができた（実績42件）。

まちづくり指標 【☆：基本計画におけるまちづくり指標、◎：総合戦略における指標】		基準値 (基準年度)	単位	実績値 令和元年度	目標値 令和4年度
1	日常の買物が便利と感じている市民の割合【☆, ◎】	73.8 (H30)	%	82.0	80.0
2	市内商業者（小売業）の年間販売額【☆, ◎】	2,114 (H29)	億円	—	2,254
3	納税法人数【☆, ◎】	6,073 (H29)	法人	6,303	6,100
4	産業労働支援センターでの創業等相談件数【☆, ◎】	488 (H29)	件	552	520
5	映画・映像関連企業と連携した取組の件数【☆, ◎】	35 (H29)	件	42	50
【備考】					

## 2 令和元年度の振り返り — 評価 (CHECK)

総合評価	A	S：「顕著な取組成果が得られた。計画以上に目標を達成した。」 A：「予定した取組成果が得られた。計画どおりに目標を達成した。」 B：「一定程度の取組成果が得られた。概ね計画どおりに目標を達成した。」 C：「予定した取組成果が得られなかった。目標達成にはやや至らなかった。」 D：「取組成果が得られなかった。目標達成までには至らなかった。」
	理由	・調布市商工会と連携し、商店会、市内事業者の活動を支援することにより、市内商業の活性化に取り組み、まちづくり指標に掲げる項目について、令和4年度の目標値を超える成果を出した項目もあり、予定していた取組成果や目標値を上回ることができたため。

## 3 施策の方向 — (ACTION)

区分	今後の取組の方向 ★：重点プロジェクトに関連する取組、●：新規の取組、○：拡充の検討を要する取組
令和2年度の取組	<p>★新型コロナウイルス感染症の影響により、地域経済の状況に大きな変化があったため、新しい生活様式を踏まえた市民生活や地域経済を取り巻く状況の変化を注視しながら、商工会をはじめ、商店会や多様な主体との連携により、商業活性化及びバイ調布運動の促進に向けて取り組む。</p> <p>★市内事業所・事業者への支援や新たな創業への支援を継続実施するとともに、新型コロナウイルス感染症に起因して売上が減少した事業者に対する融資あっせん制度の利用促進を行う。</p>
新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応	<p>○中小企業事業資金融資あっせん制度の拡充</p> <p>●新型コロナウイルスの感染拡大による影響等について、市内事業者の実情や意見、行政が実施している支援策を事業者・行政間で情報共有するとともに、地域経済回復に向けた市独自の事業者支援策、消費喚起策の検討を行うため、「調布市地域経済対策会議」を設置</p> <p>●プレミアム付商品券による市内事業者支援及び市内消費喚起</p> <p>●市内事業所の新型コロナウイルス感染予防対策に対する補助事業の創設</p> <p>●調布っ子応援プロジェクトによる市内飲食店等への支援</p> <p>★令和2年度に策定予定としていた（仮称）商業振興・活性化プランについては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響により、経営に大きなマイナス影響を受けている現下の状況を踏まえ、令和2年度に事業者の実態調査を実施し、現状把握と今後の地域経済対策の検討を行い、プラン策定につなげていく。</p> <p>・令和2年10月に開催予定の商工まつりが中止となった。</p>
東京2020大会開催延期に伴う対応	
台風への対応を踏まえた災害対応	
令和3年度以降の計画期間内の取組 (令和2年度から継続する取組を除く)	

16 活力ある産業の推進

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	事務事業の概要
1	商店街活性化の推進	④	●	産業振興課	<p>商業の活性化に向け、商店会のイベント事業を支援することで、商店会や個店の魅力向上を図るとともに、調布市商工会、市内事業者、商店会と連携した事業を展開する。</p> <p>また、商店街の発展や振興を目的として、街路灯のLED化や電気料金、老朽化した街路灯の維持・撤去に係る費用の一部を補助する。</p> <p>市内商業のより一層の推進を図るため、中心市街地活性化プランの検証を踏まえ、中心市街地をはじめとするにぎわいを市内商業の振興と地元商店街の活性化につなげるべく、中心市街地活性化プランを引き継ぐ計画として、(仮称)商業振興・活性化プランを策定し、プランに基づき取組を推進する。</p>
2	調布市商工会事業の支援		●	産業振興課	<p>市内商工業の発展と振興を総合的に図ることを目的として、調布市商工会の運営支援や、商工会が実施する市内事業者の経営改善普及事業、地域産業の振興事業等を支援する。</p>
3	中小企業・小規模事業者の支援	④	●	産業振興課	<p>多摩信用金庫をはじめとする複数の金融機関と締結した「中小企業等支援に関する包括協定」に基づき、創業・経営支援、人材育成、事業承継等の事業において連携を図りながら、市内の中小企業を支援する。</p> <p>中小企業事業資金融資あっせん事業を通して、市内中小企業・小規模事業者を支援する。商工会事業の支援や商店街活性化の推進と連携した取組を行う。</p>
4	産業労働支援センターによる創業の支援		●	産業振興課	<p>「調布市市民プラザあくろす」内の産業労働支援センターにおいて、創業を志す方や経営課題を解決したい方を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業診断士等の経営アドバイザーによる創業経営相談</li> <li>・「創活塾」を中心とした創業経営支援セミナー</li> <li>・創業支援施設(スモールオフィス)の貸出</li> <li>・創業チャレンジ支援事業(市内の空き店舗等で創業する方の家賃補助)</li> </ul>

16 活力ある産業の推進

※各事務事業の概要については、巻末の「⑦事務事業概要一覧」をご参照ください。

No.	事務事業名	重点プロジェクト事業	総合戦略	所管部署	R1決算事業費(千円)	令和元年度の取組実績	実績評価	進捗状況・今後の取組の方向性								
								R1取組実績				方向性				今後の取組内容 (新型コロナウイルス感染症の影響に関連する内容は冒頭に◆印を記載しています)
								計画前倒し	計画どおり	計画遅れ	有効性改善	効率性改善	財政面改善	参加と協働改善	改善余地なし	
1	商店街活性化の推進	④	●	産業振興課	19,920	商店街のにぎわいを創出するため、市内の商店会等が行う夏祭りや歳末イベントなどを支援した(16商店会、24事業)。商店街で街路灯を撤去するに当たり、費用の一部について補助を行った。(1商店会、1事業)。市内の28商店会について、専門家や商工会と連携した巡回・面談を重ね、それぞれの商店会の特性と現状の把握、課題の抽出を行うとともに、第3回柴崎つづけ丘山川まちゼミの実施などを通じて、商店会活性化に向けた支援に取り組んだ。「地域との協働の取組」をテーマとした大学の授業に協力して実施した調布CM(商店会のPR動画)の制作や、調布駅前周辺の商店会が中心となって構成している調布駅前商店街が企画した半券サービス事業の支援等を通じて、中心市街地の活性化を推進した。	◎	●						●	商工会をはじめ、調布駅周辺における大型商業施設、商店会等多様な主体と連携した様々な活性化事業を通じて、市内外からの来訪者が増加し、にぎわいの創出につながっていることを踏まえ、商店街活性化を目的として、引き続き、商店会等が行うイベント事業や商店街の魅力向上のための事業を支援する。また、イベントのPRを積極的に推進するほか、商工会及び専門コンサルタントとの連携による商店会訪問を行い、活性化事業に関する企画・立案・実施を支援し、商店会事業の魅力向上を図る。 ◆令和2年度に策定予定としていた(仮称)商業振興・活性化プランについては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、令和2年度に事業者の実態調査を実施し、現状把握と今後の地域経済対策の検討を行い、プラン策定につなげていく。	
2	調布市商工会事業の支援		●	産業振興課	61,900	商工会が推進する「バイ調布運動」の促進を図ることを目的として、商工会が行う事業を積極的に支援した。また、調布駅前商店街が実施した半券サービス事業を引き続き支援することで、市内の回遊性向上と商業の活性化を図った。市内消費喚起及び消費者還元策として実施したスクラッチカード事業(「2019絆・ぬくもり がんばろう調布セール」)に要する経費を補助した。当該事業では、500円以上の買い物やサービス利用で300円又は100円の金券が当たるスクラッチカード事業のほか、スクラッチカードのはずれ券を「チャンス券」と称して参加店舗の任意によるチャンス券を活用した独自サービスや、チャンス券5枚1口の抽選で商品券が当たるWチャンスを実施することで、市内消費喚起・消費者還元を一層推進した。	◎	●						●	商工会と連携した地域産業の振興を推進するため、引き続き、商工会の活動及び運営の支援を行うとともに、商工会が市内消費喚起及び消費者還元策として実施する、商店会と連携したスクラッチカード事業を支援し、市内商業の活性化につなげる。また、東京2020大会を契機とした市内消費の促進については、商工会と連携し、地域経済の状況を見ながら、効果的な方策の検討をしていく。 ◆新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえながら、今後の地域経済対策の取組とも整合を図りつつ、市内商店会が実施する各種イベント事業の支援や商店会が抱える課題解決を図るため、商工会による専門コンサルタントを活用した市内商業活性化に関する経費を補助し、今後の商店会支援につなげていく。	
3	中小企業・小規模事業者の支援	④	●	産業振興課	42,115	市の事業資金融資あっせん制度を利用している市内事業者を対象として、よろず経営相談(個別訪問相談)を行い、32件の相談に対応した。また、これらのうち、課題解決等により17件の相談を終了させたほか、8件の相談の継続的な対応に取り組むなど、効果的な成果につなげることができた。事業承継をはじめ、「人財育成セミナー」等の様々な経営課題をテーマとしたセミナーを開催した。経営に関する課題解決を支援するため、調布市経営アドバイザーが相談に対応した。事業資金融資あっせん制度を活用した融資の実行件数は、275件(前年度比19件増加)となった。	◎	●	●						経営アドバイザーが在籍する産業労働支援センターにおいて、引き続き、事業承継、税務・労務・経理など、経営に必要な様々な内容のセミナーを開催することで、市内事業者への支援を図るほか、経営課題に関する個別相談やよろず経営相談(個別訪問相談)を実施する。「中小企業等支援に関する包括協定」を締結している各金融機関の強みを活かし、様々な経営課題に対応したセミナーを開催することで、市内事業者の経営を支援する。UICアライアンスセンターや産学官連携センターといった電気通信大学の組織等と連携して、市内中小企業に対する幅広い支援を行う。 ◆新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、中小企業等への支援に取り組んでいく。	
4	産業労働支援センターによる創業の支援		●	産業振興課	8,227	創業を志す人を対象として、経営アドバイザーによる資金、販路、税務、労務、マーケティングなどといった、幅広い相談事業を実施した。また、多摩信用金庫との包括協定に基づく創業経営相談を実施したほか、女性起業相談会をはじめとするテーマ別個別相談会、よろず経営相談(個別訪問相談)等、様々な形での相談事業を実施した(創業等相談件数771件、よろず経営相談31件)。この他、創業・経営に関する各種セミナーを5回開催した。産業競争力強化法に基づく特定創業支援事業を実施した(証明書交付18件)。創業支援施設(スモールオフィス)の貸出を行い、創業支援を図った。市内空き店舗等で創業する方に対する家賃補助を通じた創業支援を行った(4件)。これらの取組を通して、創業支援や経営課題の解決につなげることができた。	◎	●						●	相談事業については、求所相談のほか、調布市中小企業事業資金融資あっせん制度を案内する機会を活用して、創業した事業所へ出向いての相談(よろず経営相談)を行うなど、今後も様々な機会を活用しながら、取組を推進していく。また、セミナー事業等では、シニア向け創業や女性向け創業、顧客ニーズを正確に把握し、大学・企業等とも連携した企画を展開していく。さらに、スモールオフィスの貸出や空き店舗の活用等に対する家賃補助を通じて、創業の場の確保を支援していく。産業競争力強化法の認定団体として、関係団体(商工会、多摩信用金庫、日本政策金融公庫)と連携しながら、事業者に着り添った創業支援策を展開する。事業承継に関する取組において、市内事業者の経営の安定と成長の支援や、様々な課題解決に向けたサポートを行っていく。	
								0	4	0	1	0	0	0	3	計
								0.0	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	割合(%)

当該施策に体系付けられている全ての事務事業については、巻末に掲載している参考資料「⑥事務事業一覧(施策体系順)」をご参照ください。